



令和6年(2024)1月31日 No.10

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責 原井葉子

「命を守る」防災教育を

令和6年は、元旦から大きな災害、事故が続き、辛く悲しい年明けとなりました。地震で家や家族を失われ、避難所の学校で生活されている方々や、集団避難をしている中学生の様子など、連日の報道に胸が痛みます。そして、改めて、防災教育や非常時に学校施設が果たす役割について認識し、防災教育の取組を進めていかなければならないと考えています。

防災教育は、災害発生の理屈を知ること、社会と地域の実態を知ること、備え方を学ぶこと、災害発生時の対処の仕方を学ぶことと、それを実践に移すことを目的に、学校や地域など様々な機会や場面で、全ての人に対して行われるものです。

園や学校では、震度5以上を想定した避難訓練や保護者への引き渡し訓練などを実施し、市自治連合会でも現在防災マニュアルを作成されているところです。

今後はさらに学校と地域が連携を強くし、命を守る防災教育を進めていきたいと考えています。



避難訓練で机の下へ



防災について出前授業

給食に「ウクライナメニュー」が登場

今月、25日と30日に、市内小・中学校の学校給食にウクライナ料理の「ボルシチ」、「ピロシキ」が登場しました。これは、令和4年度に奈良県高山茶釜生産協同組合がウクライナ支援茶釜を製作、販売した売上金からいただいた寄付を活用し実現したものです。

メニューのレシピは、日本に避難し、天理大学に在籍しているウクライナの留学生から提供していただきました。

この給食を通して、子どもたちがウクライナという国を知り、日本に避難しているウクライナの人や、母国で争いが終わることを願う人のことを思い、平和について考える機会になることを願っています。

生駒市では、毎日美味しく安心安全な学校給食を提供するとともに、食の文化や歴史、季節、環境などを取り入れ、豊かな食体験、食育に力を入れています。



【今月の note から】

☆ リアル「にしよロボくん」登場!

生駒南第二小学校で誕生した「にしよロボくん」が、地域の方と奈良工業高等専門学校の協力で本物のロボットになって、1月9日の始業式に登場しました。

人が近づくと感知して、頭のランプを光らせ手を動かしながら、「なんだかやる気が出てきたぞ」「今日の給食は何かな」など、話をします。顔の表情も変わって、なんとも愛らしいロボットに、子どもたちも大喜びです。

生駒市教育委員会公式noteに、「にしよロボくん」の誕生からこれまでの取組の詳細を紹介しています。奈良高専の記事も掲載していますのでぜひご覧ください。

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n3231144c1406>



お話するにしよロボくん

ischool のご案内

「ischool(アイスクール)」は、これからの時代に対応する力を身につけるため、私たちが「今、知りたいこと」や「より豊かに暮らすために役立つこと」を学ぶ場です。「子どもと学ぶ」、「生駒のまちを知る」、「ニュースにふれる」、「スキルを身につける」、「新しい自分に出会う」の5つのジャンルで、新しい学びに挑戦する「学びクリエイター」と共に企画しています。お子さんと一緒に学べる講座もたくさんありますので、仕事や家事、子育てのスキマ時間に、どうぞ気軽にご参加ください。

【2月に開催される講座】

2月16日(金) 性の多様性に目を向けてみよう
20時～オンラインでの開催です

2月18日(日) みんなで議会に行ってみよう
親子で参加できる社会見学です

2月23日(金) ちっちゃな焚き火プロジェクト
ベルステージで思い思いの過ごし方を
焚火の世話役火守さんも募集中

☆詳細、申し込みはこちらから

<https://ischoolikoma.com/>